

議会だより

昭和五十二年第六回臨時会は十一月二日から二六日までの会期六日間で、報告一件、議案九件、請願一件をそれぞれ慎重な審議がなされました。一、報告(専決処分の承認) 二、議案(補正予算二件、請負契約)

(一)昭和五十二年一般会計補正予算(第五号)は、一〇八〇千円を追加し才入出総額を六八二一六九千円とする件でありました。これは庁舎建設に伴う寄付金を庁舎竣工まで調度品等に使用するため議案を開催する事が出来ない理由により専決処分したものであり原案通り承認されました。

(二)議案(補正予算二件、請負契約)

昭和五十二年一般会計補正予算(第五号)は、一〇八〇千円を追加し才入出総額を六八二一六九千円とする件でありました。これは庁舎建設に伴う寄付金を庁舎竣工まで調度品等に使用するため議案を開催する事が出来ない理由により専決処分したものであり原案通り承認されました。

二、議案(補正予算二件、請負契約)

昭和五十二年一般会計補正予算(第五号)は、一〇八〇千円を追加し才入出総額を六八二一六九千円とする件でありました。これは庁舎建設に伴う寄付金を庁舎竣工まで調度品等に使用するため議案を開催する事が出来ない理由により専決処分したものであり原案通り承認されました。

昭和五十二年度決算の中心

約関係三件、決算認定四件(一)補正予算案二件は会期中に合同委員会を設置し審議した結果、原案通り可決されました。

○ 昭和五十二年上越新幹線建設事業特別会計補正予算第二号は、四七九千円を追加し才入出総額をそれぞれ四八五三三三千円とする件であり、才入は公団よりの受託事業収入四七五六六千円、繰越金一四三三三千円でありました。才出は、大字釣寄地内排水路の事業費四六四七千円、事務費一三三三千円です。

○ 昭和五十二年一般会計補正予算第六号は、四〇三六千円を追加し、才入才出総額をそれぞれ六八五二〇五千円とするものです。

○ 中ノ口川浸透水排除工事が増工等により、九七八〇千円から、一〇八三三三三千円に工事費が増額となり、議決事項となったものです。

○ 本会議で可決された新幹線建設事業特別会計の大字釣寄地内の排水路工事の請負契約で工事費が、四一〇〇千円で漏水倉組が落札したものです。(工事後後中学校道路のせまい部分全部なくなり広くなります。)

○ 中ノ口川浸透水排除工事が増工等により、九七八〇千円から、一〇八三三三三千円に工事費が増額となり、議決事項となったものです。

○ 本会議で可決された新幹線建設事業特別会計の大字釣寄地内の排水路工事の請負契約で工事費が、四一〇〇千円で漏水倉組が落札したものです。(工事後後中学校道路のせまい部分全部なくなり広くなります。)

戦没者の遺族に特別弔慰金(20万円)が支給されます。

昭和五十年十一月十日付広報第七十二号でお知らせしましたが、未請求者はありませんか。

支給の条件は、昭和五十年三月三十一日までに公務扶助料、遺族年金等を受給していた人が死亡等により失権し、他にこの年金等を受給できる人がいないこと。

昭和五十年十一月十日付広報第七十二号でお知らせしましたが、未請求者はありませんか。

支給の条件は、昭和五十年三月三十一日までに公務扶助料、遺族年金等を受給していた人が死亡等により失権し、他にこの年金等を受給できる人がいないこと。



品質の向上は側枝利用から

側枝利用の改善による品質の向上をテーマに第三回二十世紀梨せん定競技会を十一月十六日、上曲通の大開了さんの園場を借り受け開催いたしました。競技は五人をチームとし、事務局で予め定められた候補樹を抽選により決め一時三十分の時間で仕上げ上げせんに近い状態にまで行なったもの

側枝利用の改善による品質の向上をテーマに第三回二十世紀梨せん定競技会を十一月十六日、上曲通の大開了さんの園場を借り受け開催いたしました。競技は五人をチームとし、事務局で予め定められた候補樹を抽選により決め一時三十分の時間で仕上げ上げせんに近い状態にまで行なったもの



たものです。競技終了後は各チームの代表者からそれぞれせん定の内容、また、今後の主枝、亜主枝等の取り扱いについて説明を願いました。審査の結果は次のとおりです。

一位 大別当支部
二位 月瀉支部
三位 上曲通支部
下曲通支部

農村総合整備 住民意向調査

結果纏まる

月瀉村の将来像を考えるために

(シリーズ1)

明るく、住み良い明日の月瀉村をつくるための「農村総合整備計画」の策定にあたって、皆さんからお寄せ頂いた住民意向調査の結果が纏まりましたので、その概要を今月から順を追って掲載します。村では、農村総合整備推進協議会及び村議会との連携をはかり、十年後の村の姿を描く作業を進めています。

この計画は、概ね二月下旬に成案として決定する予定です。一お宅でのあなたの地位をおたずねします。

問二 あなたの年齢をおたずねします。

問三 あなたの性別をおたずねします。

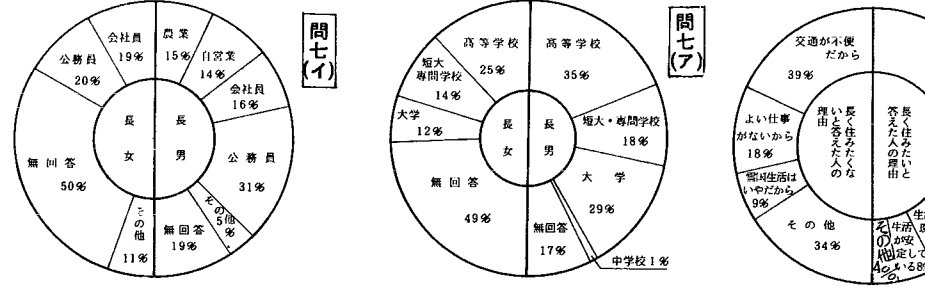
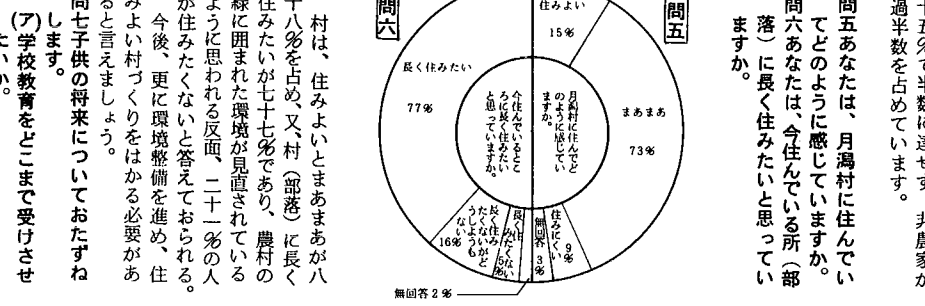
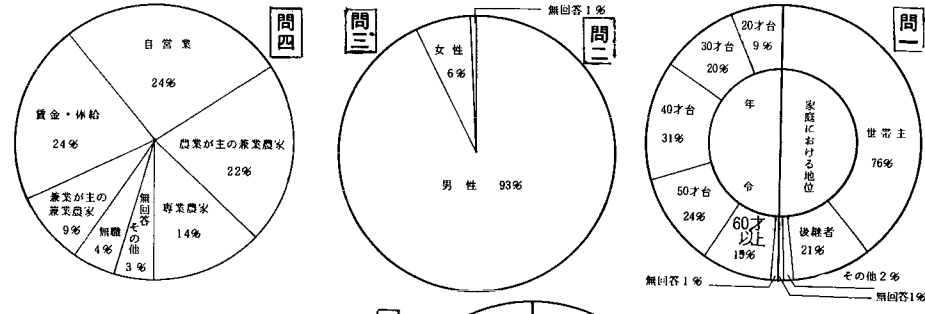
問四 あなたの職業をおたずねします。

問五 あなたの住みよさを教えてください。

問六 あなたの職業についておたずねします。

問七(イ) あなたの職業についておたずねします。

問七(ウ) あなたの職業についておたずねします。



問七(イ) あなたの職業についておたずねします。

問七(ウ) あなたの職業についておたずねします。

長男、長女とも無回答を除くと殆んどが高等学校以上までと答えており、高学歴指向がうかがわれます。二男、二女等は無回答が多いため省きました。(以下同じ)

(イ)どんな職業につかえたいか 経済不況を反映してか、安定職といわれる公務員の希望が多くなっています。長男の場合には家業(農業、自営業)を希望される人も約三十%あります。

(ウ)将来どこに住みたいか。(長男以外は回答率が低いため省略しました。)

長男は、親と一緒に暮らして欲しい人が多いのは当然ですが、本人の自由意志というものが二十七%と増えたのは、核家族化の現象を親がある程度、やむをえないと認識してきた表われでしょうか。しかし、これ自体、これからの村作りを考えるべき点であるとも言えるようです。